（様式１－１）

学校番号	中学３	学校名	茨城県立水戸第一高等学校附属中学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
茨城県教育委員会教育目標

校訓

「至誠一貫」「堅忍力行」

生徒の実態

〇知的好奇心が強い。
〇自分の目標の実現に向けて、継続的に努力しようとする態度が見られる。
〇県内21市町村から生徒が集まっている。

学校の教育目標

社会の変化に対応するだけでなく社会に変革をもたらす、グローバルな視点をもって茨城から世界に羽ばたく、高い志をもって地域医療をはじめ地域課題の解決を先導する、といった形で社会に貢献できる者を育成する。

保護者の願い

〇高い学力を身に付けること。
〇国内研修旅行や海外研修旅行等の特色ある教育活動を通して、豊かな人間性を身に付けること。

道徳教育重点目標

〇心豊かに、生き生きと生活する。
〇自他の生命や権利を尊重する。
〇道徳的判断のもとに自主的に行動し、自己の向上に努める。

地域の実態

〇保護者の学校教育への関心が高い。

各教科・科目

国語	言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。
社会	グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。
数学	論理的、統合的・発展的に考察し、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育成する。
理科	自然の事物・現象を科学的に探求する資質・能力を育成する。
音楽	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化に関わる資質・能力を育成する。
美術	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
保健体育	心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する。
技術家庭	生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。
外国語	外国語による言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

各学年ごとの指導の重点

1年
〇挨拶や礼儀など基本的生活習慣を身に付けられるようにする。
〇他者を尊重し、思いやりの心をもって接することができるようにする。
〇自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合って集団生活の向上に努められるようにする。
〇自他の素晴らしさや互いの違いを認め、より良い人間関係づくりを目指す。

2年
〇自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した学校生活を送れるようにする。
〇礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとれるようにする。
〇勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深められるようにする。

3年
〇自己の目標をより具体的にもつことで、将来に向けて社会性や協働力を身に付け、主体的に学校生活を送れるようにする。
〇自他を尊重することで、お互いの価値観や多様性を受け入れ、よりよい関係づくりに励もうとする態度を育成する。
〇社会に貢献するために必要な能力を身に付け、自己の向上を図ろうとする態度を育成する。

特別活動

〇集団生活を通して集団の一員としての自覚を高めるとともに、自主的実践的な活動を通して、人間としての生き方の自覚を深める。
〇多様な行事等を通して、誰もが活躍でき、居場所がある集団づくりを行う。

総合的な学習の時間

自らの足元から、茨城、日本、世界への探究の範囲を広げ、多様な文化・社会への理解を深めるとともに、そこに存在する諸問題の解決に貢献する意欲、能力を高める。
・足元茨城を知る（第１学年）
・日本を知る（第２学年）
・世界を知る（第３学年）

道徳の時間の指導方針

〇「道徳」の時間を学校教育全体で行う道徳教育を補充、深化、統合する要の時間と位置づける。
〇道徳的諸価値についての理解を深める。
〇自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める。
〇道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
〇授業者のローテーションやロールプレイ、写真・動画などの視覚資料の使用、タブレット端末や電子黒板等のＩＣＴの積極的な活用など創意工夫ある指導をする。

生徒指導

〇生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達と、同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支援する。
〇いじめ等の他者の人権を侵害する行為の未然防止、早期発見と組織的対応を徹底する。

特色ある教育活動や体験活動

〇中高が連携した「＋４学年活動」
〇研修旅行（国内・国外）や総合的な学習の時間における多様な文化理解
〇中高合同や異学年による道徳・学活など
〇体験型選択制の部活動
〇ＳＤＧｓ、マナーアップ等の委員会活動

学級・学校の環境の充実・整備

〇人権教育を効果的に進めるための環境整備に努める。
〇心理的に安全な学級・学校づくり
〇清掃、整理整頓の徹底
〇言語活動の改善・充実
〇「＋４学年」でのフロア配置

家庭・地域社会などとの連携

〇家庭や地域社会との交流を密にし、協力体制を整える。
・関係団体が実施する研修への積極的参加
・保護者や地域の人材との協働
・学校・授業公開の実施
・校内ガイドツアー「水戸一の道」の実施
・各種通信の発行、ブログの更新
・ボランティアなどの体験活動